

# 林業ミニ情報 No.139

平成29年1月

- 1 大子清流高校生が間伐作業及び高性能林業機械の操作を体験 ……1  
(大子林業指導所 栗田)
  - 2 「大子那須楮保存会」の設立について ……2  
(大子林業指導所 長山)
  - 3 県産木材をふんだんに使った家づくり (板倉の家) ……3  
(土浦林業指導所 加藤)
  - 4 地域イベントと連携した森林・林業体験学習を実施 ……4  
(筑西林業指導所 松浦)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 ……6  
(林業技術センター 益子)

## 1. 大子清流高校生が間伐作業及び高性能林業機械の操作を体験

去る12月2日(金)と16日(木)に、県林業グループ連絡協議会(穰山與市会長)が若い林業担い手の育成を目的に、大子清流高校森林科学科の生徒を対象として実践的な間伐作業と高性能林業機械の操作体験を実施しました。

12月2日には、森林科学科全学年の生徒28名が参加し、大子町大字大子地内の奉行平演習林でチェーンソーを使用した伐採、掛かり木の処理、枝払い、造材等一連の間伐作業を体験した。

生徒たちへの指導は、大子町林研グループ(二方峰一郎会長)が中心となり、県林業技術センター及び県北農林事務所大子林業指導所の林業普及指導員が連携して当たりました。初めに、同校の卒業生で大子町森林組合の作業班員として腕を磨いている若手作業員が伐採作業のデモンストレーションを行い、生徒たちは、年の近い作業班員の手慣れた作業の様子に感嘆の声をあげていました。

その後、生徒たちが選木・伐採・造材の作業を実施し、最初こそ作業に戸惑っていた生徒たちだったが、若者らしい呑み込みの早さで各作業のコツを掴んでいき、進んで作業に取り組んでいました。昼休みには、使用したチェーンソーを生徒たち自ら目立てし、切れ味の蘇ったチェーンソーに喜びの声をあげていました。

2日目は、大子町下野宮地内の民有林で、集材・積込を行うグラブプル、造材を行うプロセッサ、積込・運搬を行うフォワーダの操作を2年生12名が体験しました。

最初に、大子町森林組合の作業班員による、3種の高性能林業機械のデモンストレーションが行われた後、3班に分かれた生徒たちが実際に各機械に搭乗し、作業班員の指導の下、各機械の操作を体験しました。

グラブプルによる集材作業は、その後の造材・運搬作業を効率的に行うために重要な工程であり、生徒たちは真剣に取り組んでいました。フォワーダでは、材の積込み、荷下ろし作業を体験し、操作席が高所にあるため初めは恐る恐るといった感じの生徒たちも、次第に高さを忘れるほど作業に集中していました。

生徒たちに一番人気だったのは、造材を行うプロセッサであり、コンピューター制



間伐作業の様子



プロセッサの操作体験の様子

御により一瞬で指定した長さに玉切り・枝打ちまで行ってしまう様子を、驚きの声をあげていました。しかし、無駄のない採材の為には、オペレーターの経験が重要であり、決して機械任せではない事を説明され、それを踏まえて造材を行いました。指導に当たった作業班員からは、「皆呑み込みが早く、頼もしい。センスのいい生徒は是非スカウトしたい。」との声も聞かれました。

なお、当日は NHK の取材が行われ、翌 16 日に体験学習の様子がニュース放映されました。

当林業指導所では、このような若い林業担い手を育成するための取り組みを、今後も積極的に支援していくこととしています。

(大子林業指導所 栗田 恭宏)

## 2. 「大子那須楮保存会」の設立について

去る 11 月 14 日 (月)、大子町文化福祉会館「まいん」において、大子町の楮生産者 10 名による「大子那須楮保存会」(斎藤邦彦会長)が設立されました。

大子・大宮地域での楮生産の歴史は古く、江戸時代には盛んに生産が行われており、下野国那須地域(現栃木県烏山市周辺)に集積され江戸に運ばれたことから、「那須」の地名を付けて「那須楮」として流通していたとの事です。生産の最盛期は昭和 20 ~ 30 年代で、大子町では年間約 45 トン(白皮)が生産されていましたが、洋紙の普及や輸入楮の増加、また生産者の減少と高齢化等が進み、現在では年間約 3 トンまでに激減しています。

一方、当地方で生産される楮は繊維が細く光沢のある和紙を漉くことができるため、西ノ内和紙や岐阜県の本美濃紙、人間国宝の岩野市兵衛氏が漉く福井県の越前奉書の原料として欠くことのできない物となっています。また、本美濃紙がユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあり、ヨーロッパやカナダ、オーストラリアなどからも注文が届き、需要量の半分程度しか対応しきれない状況になっているとのことです。



設立総会の様子



栽培地の様子

当保存会では、楮の安定供給を目的に楮生産者（後継者）の育成，苗木の育成と計画的な栽培・管理，白皮生産のための加工技術者の育成などに取り組むとともに，名称を「大子那須楮」に決定し，出荷時には大子那須楮の荷札を付けて産地証明を行い，ブランド化を図ることとしています。

また，設立総会当日には全国手すき和紙連合会長や本美濃紙保存会長，人間国宝の岩野市兵衛氏らが駆けつけ，大子那須楮へのエールを送っていました。

当林業指導所では，「大子那須楮」が安定的に供給されるよう大子那須楮保存会の活動を積極的に支援していきたいと考えています。

（大子林業指導所 長山洋一郎）

### 3. 県産木材をふんだんに使った家づくり（板倉の家）

日本古来の伝統的な建築様式の板倉を，現代的な住宅として，木をふんだんに使い，木の良さを活かした家づくりとして取り組まれている「板倉の家」についてご紹介します。

板倉は，日本古来の神社や穀物倉庫で用いられていた木造建築ですが，「板倉の家」では，それを応用して，4寸角の柱と1寸厚の板で基本構造を作ります。

これは，スギ材を有効に活用する上で最も効率の良い寸法として選ばれ，製材歩留まり，乾燥のしやすさ，持ち運びなどの面でも使い勝手の良い寸法となっています。

また，特徴として，柱の間に溝を彫って，そこに厚板を落とし込んで壁を作る「落とし込み板壁」となっており，地震等の揺れに丈夫な粘り強い壁となるとともに，施工性の良さやコストダウンを図れるメリットがあります。

写真は，つくば市に造られた「板倉の家」です。施工業者は，「板倉の家」の普及に積極的に取り組んでいるK製材所（石岡市）で，使用している木材は，ほとんどが地元石岡市産のスギ，ヒノキにこだわっています。

K製材所の代表に話を伺ったところ，「基本構造を4寸角の柱と1寸厚の板のみで造れるので，伝統構法の技術を活かしながら，木材の加工コストを下げられ，工期も短縮できる上に，通常の木造住宅の倍



板倉の家の外観



内部の様子

以上の木材を使用することができるので、これからの森林資源を活用する優れた建築で、ぜひ広めていきたい」とのことでした。

当指導所では、昨年から石岡市内の林業、木材業関係の若手に働きかけ、K製材所の取り組んでいる「板倉の家」など地域の木材利用を進めるための検討を行っており、今後、具体的な取組につなげられるよう指導してまいります。

(土浦林業指導所 加藤 智一)

#### 4. 地域イベントと連携した森林・林業体験学習を実施

去る10月10日(月)、筑西市内の五郎助山において「NPO 法人里山を守る会」が主催する「里山フェスティバル」と連携して森林・林業体験教室を実施しました。

「里山フェスティバル」は、地域住民とのつながりを『作り』、『維持する』ことを目的として、里山を守る会が設立当初から毎年実施している活動の一つです。フェスティバルの前半は、ツリークライミング、薪割り体験等の自然体験教室、フリーマーケット、ドラム缶ピザ等の模擬店などが実施され、後半では、毎年、ミュージアムパーク茨城県自然博物館の職員による里山についてのレクチャーの後に「森のコンサート」と題してプロの演奏家を招いたコンサートなどが行われ、多くの市民が参加しました。

当林業指導所では、木工工作コーナーの一角を借り、次々と訪れる子ども達やその保護者に本県産の間伐材を使ったお箸作りの工程を説明し、併せて森林の働き等についての説明を行いました。参加者からは「木材を大切に使っていきたい」(小学生)「環境税についてよく知ることが出来た。子ども達へ森林の大切さを伝えていきたい」(40代男性)等の声が聞かれました。

今回のイベントでは、参加者が実際に里山の中で様々な体験活動を行い、森林の良さを感じながら森林の働きや林業の役割の解説を聞き、お箸作りを体験することができたため、より森林・林業の大切さを実感できたのではないかと思います。

また、林業普及指導員だけでなく、日頃から里山の管理・保全に携わっている森林ボランティア



会場の様子



箸づくりの様子

の方々の話を併せて聞くことで、子ども達は森林・林業についてより深い理解を得ることが出来たのではないかと感じました。

当林業指導所管内は、平地が多く森林への関心が比較的低い地域であるため、地域で開催される様々なイベント等にも積極的に参画し、児童生徒のみでは無く親を含めた体験学習の実施に取り組んでいきたいと考えています。

(筑西林業指導所 松浦 正志)

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成28年)

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	樹種	規格	区分	H27年 平均	H28年 時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国産材	スギ	3.00×14~20	柱材	11,200	11,300	13,400	11,700	10,600	9,300	9,400	11,000	12,900	13,600	10,500	11,500	12,900	14,300
		3.65×18~28	中目材	10,700	10,800	11,200	10,500	11,100	10,300	9,400	9,700	11,100	9,600	10,100	12,000	12,000	12,100
		4.00×8~13	小径材	12,000	11,900	14,100	13,100	11,600	10,200	9,000	9,500	10,200	10,600	10,900	11,000	10,700	11,300
	ヒノキ	3.00×14~20	柱材	14,300	14,300	15,400	16,300	14,600	14,300	13,600	13,200	14,700	14,300	15,100	15,400	15,100	16,200
		4.00×18~28	中目材	16,000	16,700	16,900	16,200	16,300	14,900	14,400	13,400	14,900	16,100	16,300	17,000	16,300	16,400
		4.00×8~13	小径材	12,100	10,300	12,800	11,600	9,900	11,300	8,900	8,600	12,900	9,800	10,400	8,300	8,700	10,100
外材	米マツ	6.00×30	No.3	-	30,100	-	-	-	32,200	31,800	28,500	28,900	30,700	31,100	29,600	30,600	
	米ツガ	6.00×30	No.3	-	24,700	-	-	-	25,700	25,300	25,100	26,600	24,600	24,900	25,000	21,400	
	北洋エノマツ	3.8×20~28	込み	-	23,000	-	-	-	23,700	23,200	23,200	23,200	23,200	22,500	22,500	22,500	
国産材	スギ	3.00×10.5×10.5	柱・KD特	-	55,800	-	-	-	53,000	53,000	53,000	55,000	56,000	58,000	58,000	60,000	
		4.00×10.5×10.5	柱・KD特	-	68,000	-	-	-	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	
		3.65×1.4×10.0	スギ・グリーン特	-	42,300	-	-	-	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	44,000	
		3.65×3.6×4.6	アルケ・グリーン特	-	40,300	-	-	-	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	42,000	
		4.00×9.0×9.0	舞臺・グリーン特	-	38,000	-	-	-	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	
	ヒノキ	3.00×12.0×12.0	柱・KD特KD特	-	60,300	-	-	-	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	62,000	
		4.00×12.0×12.0	土台・KD特	-	66,300	-	-	-	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	67,000	
	外材	米マツ集成材	4.00×12.0×24.0	梁・桁・KD特	-	60,000	-	-	-	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
		米ツガ	4.00×12.0×12.0	出入土台・グリーン特	-	62,000	-	-	-	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000
		欧州アカマツ	300×4.0×3.0	脚縁・内地産KD	-	68,000	-	-	-	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	70,000
レッドウッド集成材	3.0~6.0×10.5×15.0~38.0	梁・桁・集成材	-	68,000	-	-	-	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	70,000		

注)

外材の素材及び製材品は区分の見直しを実施されたため、4月以降分を掲載。  
国産材の素材価格は11月末、外材の素材・製材品は10月末現在。

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782	2,134	1,957	1,886	1,911	2,224	1,661	1,703	22,310
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298	1,456	1,399	1,421	1,391	1,446	1,149	1,174	15,425
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	68.2%	71.5%	75.3%	72.8%	65.0%	69.2%	68.9%	69.1%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	10,968	12,925	14,811	16,722	18,946	20,607	22,310	
28	着工数	1,412	2,007	2,079	1,734	1,857	1,983	1,944	1,910	2,205	2,369	1,639		21,139
	木造数	1,070	1,286	1,639	1,245	1,378	1,431	1,403	1,307	1,616	1,447	1,278		15,100
	木造率	75.8%	64.1%	78.8%	71.8%	74.2%	72.2%	72.2%	68.4%	73.3%	61.1%	78.0%	#DIV/0!	71.4%
	累計	1,412	3,419	5,498	7,232	9,089	11,072	13,016	14,926	17,131	19,600	21,139	21,139	

